

地方出先機関名

	所 長 氏 名	管理主事氏名	職員数
信夫教育事務所	色 摩 勝 夫	小 林 武 俊	10
伊達	大 越 大 郎	星 鈴 木 正 治	8
安部	大 蛭 本 三 郎	小 野 塚 隆 正	8
郡	米 本 分 田	菅 富 藤 隆	11
岩瀬	川 国 原 大	加 藤 大 酒 一	8
東白	河 川 谷 藤 野	武 加 添 大 酒 一	7
石川	村 津 天 秋	五 十 五 武 阿 鈴	8
西北	津 野 幸 一	藤 井 風 藤 部	8
北会	麻 井 政 政	木 井 黒 四 六	8
耶麻	沼 渡 草 三 雄	部 木 井 黒 四 六	9
両津	沼 城 政 清	部 木 井 黒 四 六	8
石城	葉 君	部 木 井 黒 四 六	13
相馬		部 木 井 黒 四 六	8
		部 木 井 黒 四 六	9

所管教育機関名

	所 管 長 氏 名	次 長 氏 名	職員数
教育研究所	長谷川 寿 郎	扇 田 六 郎	5
図書館	(兼)丹野 清 雄	小 野 柳 大 広	27
図書館	佐々木 英 栄	小 野 柳 大 広	7
理科教育センター	(兼)長谷川 寿 郎	小 野 柳 大 広	3

## 第 4 節 福島県長期総合教育計画

### 1 福島県長期総合教育計画書（基本計画）

#### (1) 発行の趣旨

昭和40年度末に策定された長期総合教育計画（基本計画）を本年度当初に印刷し、関係各方面に行政資料として配布した。計画内容について理解と協力をうるため発行したものである。

#### (2) 基本計画の内容

第一章 本県社会の変ぼうと教育

第二章 本県教育の課題

第三章 長期総合教育計画策定の基本方針

第四章 部門別計画

##### 第 1 節 学校教育計画

##### 第 1 社会の進歩に必ず教育の機会均等の確保

1. 幼児教育の拡充整備
2. 後期中等教育の機会拡充
3. 特殊学校、特殊学級の拡充整備
4. へき地教育の振興
5. 育英・奨学の拡充
6. 就学援助の拡充

##### 第 2 社会の発展と変化に対し主体的にはたらく県民資質の向上

1. 人間性の育成と道徳教育、生活指導の徹底
2. 教育内容方法の高度化と個別化教育
3. 学校教育の質的充実と教育諸条件の整備

##### 第 3 産業の発展を支える科学技術教育の振興

1. 数学・理科教育の振興
2. 中学校技術・家庭科教育の振興
3. 高等学校産業教育の整備拡充

##### 第 4 豊かな県民性を培う文化の振興

##### 第 5 変ぼうする社会に生きる人間を形成する教職

#### 員の指導力の向上

1. 教職員の需給計画と配当基準の改善
2. 教職員の研修の強化と資質向上
3. 教職員の待遇改善と福利厚生事業の拡充

#### 第 2 節 社会教育計画

##### 第 1 社会の進歩に必ず教育の機会均等の確保

1. 勤労青少年教育の拡充
2. 成人教育の拡大と機会均等

##### 第 2 社会の発展と変化に対し主体的にはたらく県民資質の向上

1. 学習内容方法の近代化
2. 学級（学校）講座等の質的充実

##### 3. 団体活動の助長

##### 4. 社会教育施設の整備充実

##### 5. 総合社会教育の推進

#### 第 3 節 豊かな県民性を培う文化の振興

1. 創造的文化的の拡充
2. 文化的環境の醸成と整備充実
3. 文化財の保護と活用の徹底

#### 第 4 社会教育指導者の確保と指導力の向上

1. 社会教育主事
2. 社会教育委員
3. 公民館職員

#### 第 3 節 保健体育計画

##### 第 1 学校教育における健康体位の向上

1. 体位の向上
2. 体力の向上
3. 安全教育

##### 第 2 社会教育における健康体位の向上

1. 社会体育施設の拡充整備
2. 社会体育指導者の養成
3. 社会体育組織の確立

#### 第五章 教育行政の近代化と教育費

##### 第 1 節 教育行政の近代化

##### 第 2 節 市町村教育委員会の行政の適正化

##### 第 3 節 教育費配分の合理化

##### 第 4 節 本県教育費の将来（想定）

##### 第 5 節 資金計画

(3) 発行部数 4,050部

### 2 福島県長期総合教育計画推進協力会議

#### (1) 目的

福島県長期総合教育計画の実施について、各関係機関の協力を得て、強力に推進するため、その趣旨説明と協力推進方について協議することとした。

#### (2) 参加者数

総数 1192名

内訳 小学校長 548名

中学校長 292

県立学校長 82

市町村関係 222

県関係その他 48

#### (3) 会場別実施状況